



平成30年度国立市市民表彰 教育文化功労 齋藤美枝子氏



～国立市での卓球人口を増やしたい～

一卓球を始めたきっかけを教えてください。

目黒から国立に引っ越してきて、ちょうど、みんなで何かスポーツを始めようということで、卓球クラブを作りました。

私も少し卓球ができたので、参加しました。それが、矢川卓球の始まりです。子どもが第六小学校に入学すると同時にPTAでも始めました。

一国立市卓球連盟に加入したきっかけを教えてください。

国立市の卓球大会に出場するため、矢川クラブとして、国立卓球連盟に加入しました。

一国立市卓球連盟や国立市体育協会ではどのような活動をされていますか。

卓球連盟では、連盟の役員及び、会計監査を務めています。

体育協会では、平成25年～現在まで、卓球連盟を代表して、事業部に所属しています。

一卓球の魅力を教えてください。

卓球は何歳でもできるスポーツです。天気にも左右されず、室内でできることや人間関係もたくさんでき、楽しく続けられています。

今後も、健康のためにも続けたいと思っています。



一地域における卓球競技の今後についてどうお考えですか。

卓球をするひとりとして、卓球人口を増やしたいのです。しかし、場所の確保ができず、現在、お断りしているところ です。

現在、インターネットに矢川卓球クラブで登録しているため、参加希望の連絡があります。しかし、国立市での運動できる施設が少ないという事情があります。一人でも多くのひとに参加していただきたいと思っています。ですから、国立市に運動できる施設を増やしていただければ、今後、卓球人口も増えるのではないかと考えています。

一最後に、一言お願いします。

春、夏、冬の体育館での子どもの開放日には、国立市卓球連盟の一人として、お手伝いさせていただきます。たくさんの参加者をお待ちしております。



※本記事は、平成31年2月に行ったアンケートの内容を記事にしたものです。